

株式会社かほく・上品の郷

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡの補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 4 年 5 月 31 日
-------	-----------------

市所管部署	石巻市 河北総合支所地域振興課
-------	-----------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社かほく・上品の郷
法人所在地	石巻市 小船越字二子北下1番地1
設立年月日	平成 16 年 10 月 22 日
代表者職・氏名	代表取締役 浮津 康逸

設立目的・経過	道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行うことを目的とする。平成17年3月「指定管理者に指定」管理に関する協定書締結。平成18年4月石巻市の指定管理者に指定。石巻市との管理に関する協定締結。
---------	--

3 定款上の事業内容

- (1) 石巻市及び地方公共団体が設置する（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
- (2) 書籍・日用品・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
- (3) 食堂施設の経営事業
- (4) その他前各号に付帯する一切の業務
- (5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員状況

	R1期末	R2期末	R3期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	6	6	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2
計	7	7	8
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	2

(2) 職員状況

	R1期末	R2期末	R3期末
常勤	15	16	15
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	67	42	29
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	82	58	44
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

- ・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化を図り、地域に貢献できる企業として成長する。
- ・日本全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと言われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和2年度期	令和3年度期	令和4年度期	令和5年度期	令和6年度期
純売上高	千円	目標 計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	647,882	634,990	/	/	/
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上高を指標とし、目標として年間10億円を設定。				
目標未達の場合の要因分析			毎月2回行っている経営会議で分析し、問題点の改善に努めている。				

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
「道の駅」運営管理	<p>キャッシュレス化に向けた取組みとして、農産物直売所では令和3年4月よりカード類、電子マネーなどの取扱いが可能となり、上品の郷としてインバウンド需要にも対応可能となりました。</p> <p>さらに9月にはコンビニ部門を直売所と統合し、4台あるもののレジでも買物が出来るシステムに更新しました。</p> <p>11月にはレイアウトの変更を行い、冷蔵・冷凍のブースをまとめ、花の販売場所の変更、野菜ブースの見直しなどお客様の流れを改善しました。</p>	<p>令和3年4月にレストラン部門をフードコートとしてテナント化したことに伴い、2店舗が入居し、テナント料収入が増加しました。</p> <p>アウトテナントも直営での営業をやめ、テナント化し、4店舗での営業が始まり、テナント料収入が増加しました。</p> <p>組織体制の変更を行い、昨年度より14名の人員削減により20,000千円以上の人件費の削減ができました。</p> <p>今後も経営のスリム化を図りながら運営を行って行きたいと思います。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出自粛や個人消費が落ち込み、様々なイベントも縮小・中止となり、道の駅でも時間短縮や休館など、観光業界・飲食業界にとって非常に厳しい状況が続いております。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大を防止するため、ガイドラインに沿った対応を行いながら集客に努め収入の確保を目指しましたが、温泉保養施設が令和2年3月5日～5月31日まで臨時休業、8月17日～12月11日までは機械設備更新のによる休館など厳しい売上となりました。</p>
事業の公共性、公益性	<p>社員一同笑顔を絶やさず、お客様を感謝の心でお迎えし、常に奉仕の心で対応する事を心がけております。</p> <p>直売所では安心安全な商品の販売に努めることはもちろん、エコファーマー認証の充実も図っております。</p> <p>また、環境に配慮したCO2見える化にも取り組みながら、お客様に憩いと安らぎ、そして安心安全な商品等を提供し、体の健康だけでなく心の健康にも配慮した事業を行っております。</p>		

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

<p>※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。</p>
--

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社かほく・上品の郷
------	--------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B/S）	借方（科目）	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
	流動資産	126,942,235	140,318,599	13,376,364	145,803,517	5,484,918
うち 現金・預金	110,674,224	125,672,095	14,997,871	127,633,239	1,961,144	
固定資産	75,277,382	48,235,102	▲ 27,042,280	24,398,907	▲ 23,836,195	
有形固定資産	69,109,370	23,230,422	▲ 45,878,948	17,955,360	▲ 5,275,062	
無形固定資産	544,225	18,943,053	18,398,828	446,425	▲ 18,496,628	
投資その他の資産	5,623,787	6,061,627	437,840	5,997,122	▲ 64,505	
資産の合計	202,219,617	188,553,701	▲ 13,665,916	170,202,424	▲ 18,351,277	
貸方（科目）	令和元年度期	令和3年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減	
流動負債	81,425,089	70,385,353	▲ 11,039,736	64,428,584	▲ 5,956,769	
うち 短期借入金			0		0	
固定負債	17,450,256	15,158,112	▲ 2,292,144	11,051,688	▲ 4,106,424	
うち 長期借入金	11,604,000	8,988,000	▲ 2,616,000	6,372,000	▲ 2,616,000	
負債合計	98,875,345	85,543,465	▲ 13,331,880	75,480,272	▲ 10,063,193	
純資産	103,344,272	103,010,236	▲ 334,036	94,722,152	▲ 8,288,084	
うち 資本金	50,450,000	50,450,000	0	50,450,000	0	
うち 資本剰余金			0		0	
うち 利益剰余金	52,894,272	53,060,236	165,964	44,772,152	▲ 8,288,084	
うち その他		▲ 500,000	▲ 500,000	▲ 500,000	0	
負債・純資産の部合計	202,219,617	188,553,701	▲ 13,665,916	170,202,424	▲ 18,351,277	

損益計算書（P/L）	科目	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
	売上高	419,007,295	330,218,314	▲ 88,788,981	300,763,565	▲ 29,454,749
売上原価	148,434,982	79,997,842	▲ 68,437,140	65,887,358	▲ 14,110,484	
売上利益	270,572,313	250,220,472	▲ 20,351,841	234,876,207	▲ 15,344,265	
販売費・一般管理費	313,739,691	260,342,914	▲ 53,396,777	249,278,625	▲ 11,064,289	
営業利益	▲ 43,167,378	▲ 10,122,442	33,044,936	▲ 14,402,418	▲ 4,279,976	
営業外収益	21,489,500	7,802,627	▲ 13,686,873	6,428,598	▲ 1,374,029	
営業外費用	221,523	1,842,396	1,620,873	106,317	▲ 1,736,079	
経常利益	▲ 21,899,401	▲ 4,162,211	17,737,190	▲ 8,080,137	▲ 3,917,926	
特別利益	2,042,000	4,386,446	2,344,446	0	▲ 4,386,446	
特別損失	2	0	▲ 2	0	0	
税引前当期純利益	▲ 19,857,403	224,235	20,081,638	▲ 8,080,137	▲ 8,304,372	
法人税等	207,960	208,271	311	207,947	▲ 324	
当期純利益	▲ 20,065,363	15,964	20,081,327	▲ 8,288,084	▲ 8,304,048	

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

区分	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
営業活動によるキャッシュフロー	1,528,889	3,233,191	1,704,302	4,839,144	1,605,953
税引前当期純利益	▲ 19,857,403	224,235	20,081,638	▲ 8,080,137	▲ 8,304,372
引当金の増減額	14,016,191	12,761,069	▲ 1,255,122	24,599,976	11,838,907
受取利息及び受取配当金	▲ 15,888	▲ 17,135	▲ 1,247	▲ 14,708	2,427
営業活動に係る資産及び負債の増減	7,651,610	▲ 9,439,686	▲ 17,091,296	▲ 11,394,754	▲ 1,955,068
利息及び配当金の受取額	15,888	17,135	1,247	14,708	▲ 2,427
利息等の支払額	▲ 73,549	▲ 104,156	▲ 30,607	▲ 77,994	26,162
法人税等の支払額	▲ 207,960	▲ 208,271	▲ 311	▲ 207,947	324
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 2,985,761	50,312,055	53,297,816	312,338	▲ 49,999,717
有価証券の増減額			0	▲ 10,000	▲ 10,000
有形固定資産等の増減額	▲ 13,948,407	14,730,680	28,679,087	▲ 852,000	▲ 15,582,680
投資有価証券の増減額	10,962,646	35,581,375	24,618,729	574,338	▲ 35,007,037
貸付金の増減額			0		0
その他の固定資産等の増減額			0	600,000	600,000
			0		0
			0		0
財務活動によるキャッシュフロー	11,454,000	▲ 2,966,000	▲ 14,420,000	▲ 2,616,000	350,000
短期借入金の増減額			0		0
ファイナンス・リース債権等の増減額			0		0
長期借入金の増減額	11,604,000	▲ 2,616,000	▲ 14,220,000	▲ 2,616,000	0
資本金等の増減額	▲ 150,000	▲ 350,000	▲ 200,000		350,000
配当金の支払額			0		0
その他固定資産等の増減額			0		0
			0		0
現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
現金及び現金同等物の増減額	9,997,128	50,579,246	40,582,118	2,535,482	▲ 48,043,764
現金及び現金同等物期首残高	44,448,433	54,445,561	9,997,128	105,024,807	50,579,246
現金及び現金同等物期末残高	54,445,561	105,024,807	50,579,246	107,560,289	2,535,482

(※1) 負の数の場合は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

(※2) 支出は、マイナス記号（-）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和元年度期	令和2年度期	前期増減	令和3年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
委託料及び指定管理料	18,700,000	94,602,000	75,902,000	48,900,000	▲ 45,702,000
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	45,000,000	45,000,000	0	45,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
 ※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

有形固定資産が5,275千円減額したのは、資産を減価償却したための減額です。
 無形固定資産が18,497千円減額したのは、のれんを償却したための減額です。
 流動負債が5,957千円減額したのは、レストラン分の仕入（買掛金）がなくなったことと、消費税の未払いが減少したことによるものです。
 固定負債が4,106千円減額したのは、借入金とリース債務が減額したことによるものです。
 貸借項目で重要な数値「自己資本率」は55.7%です。（当期55.7% 前期54.6% 前々期51.1%）

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容（単位：円）	変動要因	
固定資産	有形固定資産	5,275,062減	備品、リース資産等の償却による減少
	無形固定資産	18,496,628減	のれん（営業権）の償却による減少
流動負債	5,956,789減	未払消費税及び買掛金の減少	
固定負債	4,106,424減	長期借入金の返済及びリース債務の支払いによる減少	
純資産	利益剰余金	8,288,084減	当期純損失発生により減少

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和2年度の集客者数は549,597人に対し令和3年度は653,585人となり103,988人増となりましたが、原材料等の高騰による水道光熱費、燃料費が増加する等の影響が大きく、最終的に営業利益は令和2年度同様にマイナス計上となりました。このような状況下において石巻市より指定管理料（新型コロナウイルス感染症拡大による休業補償等）として48,900千円の交付があり、収支の面において改善されたものの、昨年度石巻市に寄付した資産の会計上（減価償却等の）処理により、最終的な純利益は-8,288千円となりました。
 しかし、これらの処理により令和4年度以降は財務体系をスリム化することができるものと思われます。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項目	変動内容（単位：円）	変動要因
売上高	29,454,749減	指定管理料の減額による減少
売上原価	14,110,484減	売上減少に伴う仕入等の減少
販売費・一般管理費	11,064,289減	人件費等の削減による減少

情報公開シートⅡ 補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

<p>営業活動によるキャッシュフローは当期末で4,839千円となっており、前期・前々期と比較を行うと引当金の増減額が改善されています。</p> <p>今期はのれんの償却を行ったため減価償却費は増加しておりますが、財務体系は改善されています。その他の要因として、未収入金が増えたため（キャッシュレス）と未払い消費税の増加、仕入債務が減少したことにより、営業活動によるキャッシュフローについては昨年よりも改善されております。</p> <p>石巻市からの指定管理料（新型コロナウイルス感染症拡大による休業補償）の収入が大きく影響していますが、新型コロナウイルス感染症の関係での感染予防と運営活動の両立への取組みを継続しながら、今後も事業を行っていく上で資金繰りも含め、売上及び利益をいかに確保していくか、注視していく必要があります。</p>

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項目	変動内容（単位：円）	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー 引当金の増減額	11,838,907増	減価償却の増加による
投資活動によるキャッシュフロー 有形固定資産の増減額	15,582,680減	前期は有形固定資産の売却によりキャッシュ増となったが、今期は有形固定資産の取得しか行っていないためキャッシュが減少
投資活動によるキャッシュフロー 投資有価証券の増減額	35,007,037減	定期預金の預入支出に対し払戻収入が上回ったことでキャッシュ増となったが、前期の増加額の方が大きかったことで増加幅は減少

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
かほく・上品の郷管理運営業務	48,900,000	指定管理業務 ※新型コロナウイルス感染症に係る事業継続支援金

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所 地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（1）中間的な経営目的・事業計画

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の収束が見通せず、「新しい生活様式」の実践、感染予防と経済活動の両立への取組が継続されましたが、新型コロナウイルスの変異株の流行や感染者数の再拡大など、社会・経済活動に対して及ぼす影響が不透明な状況が続き、令和2年度同様に個人消費が落ち込み、様々なイベントも中止になるなど観光・飲食業界にとって非常に厳しい状況が続いていたことから、道の駅全体の売上も減少となり、目標計画額に達することができなかつたと思慮されます。

依然として新型コロナウイルス感染症の先行きが見通せない状況ですが、「新しい生活様式」を取り入れながら、様々な形で利用客を呼び込めるような魅力的な策を講じ、地域の活性化に貢献することを期待します。

（2）主要事業の成果、課題

令和3年度については、赤字経営の続いていた直営レストランを4月からフードコートとしてテナント化し、また、アウトテナントも直営での営業を止めテナント化したことにより、年間のテナント料収入として19,429千円の増加を図ることができました。

組織体制の変更にも取組み、余剰となった人員14名の削減により20,000千円以上の経費削減を行いました。

引き続き経営のスリム化と経費の削減を図りながら運営をすることを期待します。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（1）貸借対照表

令和3年度については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が大きくあったものと思慮されます。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

令和3年度の集客者数は令和2年度に対し103,988人増となりましたが、原材料等の高騰による水道光熱費、燃料費が増加する等の影響により、営業利益はマイナス計上となっています。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただきたい。

(3) キャッシュフロー計算書

営業活動によるキャッシュフローは当期末で4,839千円となっており、令和2年度と比較を行うと改善されていますが、引き続き、経営改善に向けた効率的な運営に努めていただきたい。

(4) 市による財政・金融支援等

令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により売上げが減少したため、指定管理料として48,900千円を支出しましたが、経営改善に向けた効率的な経営に努めていただきたい。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

新型コロナウイルス感染症の影響等により、今後も厳しい状況が見込まれるが、道路利用者や地域住民等が情報や交流の拠点として、利用しやすくより一層親しまれるようサービスの向上及び運営の効率化に努め、当市の災害時支援協定施設、並びに全国モデル「道の駅」として信頼性を高めていくことを期待します。